

広域景観形成推進事業
アクションプログラム

平成26年3月

五島地域広域景観形成推進協議会

はじめに

五島列島は、九州の最西端、大小 140 余りの島々からなり、美しい海に代表される豊かな自然の恵みにあふれた地域です。

歴史も古く、古事記や万葉集などに「ちかのしま」の名で記され、奈良・平安期には遣唐使船の寄港地として、中世以降は大陸との交易で栄えました。また、近世には多くのカトリック信徒が移り住み信仰を守り続けてきました。現在も、神社仏閣、カトリック教会をはじめとして数多くの歴史的な遺産が残っています。

今回、広域景観形成推進地域として指定された下五島、小値賀、上五島からなる地域は、気候、自然、歴史、生活・文化等において様々な共通性を持っています。この 3 地域が連携し、「五島」というひとまとまりの地域として、景観を守り、活かしたまちづくりを進めていくための方策を、住民、関係団体、行政が一緒になって考え、アクションプログラムとしてまとめました。

検討にあたっては、下五島、小値賀、上五島の各地域に地域協議会を、さらに 3 地域が一体となった全体協議会を設けて、2 ヶ年にわたり意見交換を行い、「地元ではありふれたものでも、外の人には魅力的なものがたくさんあることに気付いた」とか「自分達が地域のことをよく分かっていない。子ども達に継承していくために、もっと知らないといけない」など、参加者が地域の良さを見直すきっかけになりました。

このプログラムは、関係者が協力しながら取り組むことを基本としています。今後、総合的な景観形成、地域の一体感の増進、魅力の向上など、交流人口拡大の基盤づくりに繋げていきたいと考えています。

プログラム策定はゴールではなく、スタートであると考えています。一人一人が自分達の役割を考え、何をすべきなのか、この五島地域の景観をいかに守り活用して次の世代に伝えていくのか、癒しを、おもてなしをどうアピールしていくのか、今後も、改善を重ねながら、地域一丸となってプログラムを実践していきたいと思っています。



アクションプログラムのみかた

広域景観形成アクションプログラム(以下「アクションプログラム」とする)は、私たちが広域景観を守り、活かしていくために、私たち自身に取り組んでいく具体的なアクション(行動)をまとめたものです。

このアクションプログラムが具体化していくためには、その動機が明確でなくてはなりません。

つまり、私たち自身が、“広域景観を守り、活かしていきたい”と心から思える「何か」があることです。

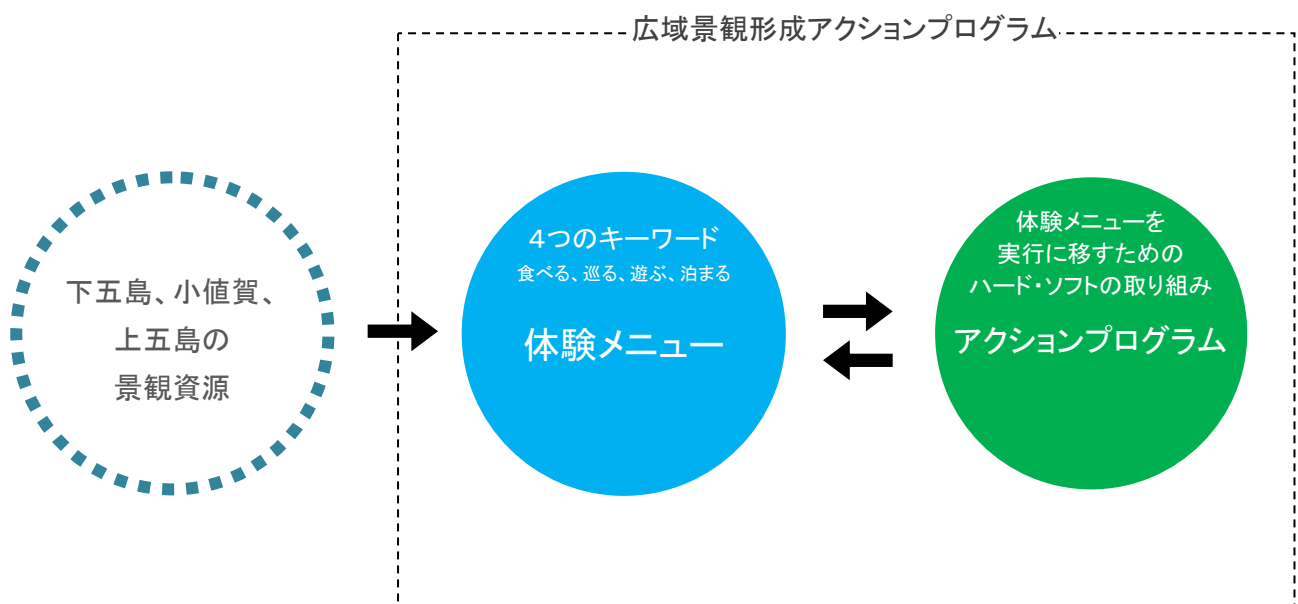
そこで、私たちは、その「何か」を探すことから始めました。

その結果が、広域景観を活かした「体験メニュー」の数々です。

この体験メニューは、島外の人はもちろん、島の人にも島の素晴らしさを再発見してもらえるような内容で構成しています。

私たちは、この体験メニューを必ず動かしていきたいと思っています。これにより、地域の歴史や伝統を守り、住民の暮らしを守りたい、そして、この取り組みを通じ、地場産業が活性化し、交流人口の拡大により地域振興を実現したいと切に願っています。

そのために取り組むべきこと、これがアクションプログラムです。





協議会の風景



項目	個別事業	三協会の役割	地域協議会での役割
1. スポット整備・活用プロジェクト	1-1 「仮称」駅前・眺望100選の選定・活用 1-2 駅前・眺望100選の整備 1-3 住民等・空き家の再生	無条件 無条件 無条件 無条件	駅前・眺望100選の選定・活用 駅前・眺望100選の整備 駅前・眺望100選の整備 駅前・眺望100選の整備
2. 商業内・アクセス改善プロジェクト	2-1 1:1巡回マップの作成 2-2 巡回サインの整備・充実	無条件 無条件	駅前・眺望100選の選定・活用 駅前・眺望100選の整備
2-3 公共交通を活用した移動手段の確保		無条件	駅前・眺望100選の選定・活用 駅前・眺望100選の整備
2-4 自治体間や商業関係者等との連携した移動手段の確保		無条件	駅前・眺望100選の選定・活用 駅前・眺望100選の整備
3. 体験メニュー	3-1 商業体制の整備 3-2 3協会の連携による観光ガイドの提供メニューの創出・育成	無条件 無条件	駅前・眺望100選の選定・活用 駅前・眺望100選の整備
4. 情報発信・プロモーションプロジェクト	4-1 共通ホームページの統合的な情報発信ツールの整備 4-2 3協会の連携による観光ガイドの提供メニューの創出・育成 4-3 3協会の連携による観光ガイドの提供メニューの創出・育成 4-4 3協会の連携による観光ガイドの提供メニューの創出・育成	無条件 無条件 無条件 無条件	駅前・眺望100選の選定・活用 駅前・眺望100選の整備 駅前・眺望100選の整備 駅前・眺望100選の整備



協議会の開催概要

〔平成 24 年度〕

■第 1 回地域協議会

- ・上五島地域協議会 (25/2/1)
- ・小値賀地域協議会 (25/2/22)
- ・下五島地域協議会 (25/2/25)

■第 1 回全体協議会〔下五島〕(25/3/14)

■広域景観シンポジウム in 下五島 (25/3/14)

〔平成 25 年度〕

■第 2 回地域協議会

- ・上五島地域協議会 (25/8/1)
- ・小値賀地域協議会 (25/8/9)
- ・下五島地域協議会 (25/8/22)

■第 2 回全体協議会〔小値賀〕(25/9/9)

■第 3 回地域協議会

- ・下五島地域協議会 (25/11/6)
- ・上五島地域協議会 (25/11/8)
- ・小値賀地域協議会 (25/11/14)

■第 4 回地域協議会

- ・上五島地域協議会 (26/1/21)
- ・小値賀地域協議会 (26/1/23)
- ・下五島地域協議会 (26/1/27)

■第 3 回全体協議会〔上五島〕(26/2/24)

■広域景観シンポジウム in 上五島 (26/2/24)



第1章 下五島、小値賀、上五島が ひとつになって取り組みたい体験メニュー... 6

巡る	カメラを持って、五島を旅する。.....	9
	海からみた五島クルーズ。.....	11
泊まる	島に暮らすように泊まる。.....	12
	満天の星空に手が届く天然プラネタリウム。.....	14
泊まる	大人の秘密基地、プライベートアイランドの旅。.....	16
	島の大自然を体感する、究極の海遊び。.....	17
食べる	非日常空間で、食べる。.....	19
	地元の食べ方で、しま料理を、味わう。.....	20

第2章 体験メニューを実現するための アクションプログラム 22

1	体験メニューを実現するために必要なこと.....	23
2	課題解決のための方向性と解決の手段.....	25
3	実現化に向けた戦略.....	27
4	推進体制.....	34

第1章

下五島、小値賀、上五島が
ひとつになって取り組みたい
体験メニュー

体験メニュー一覧

巡る



カメラを持って、五島を旅する。

- ①しまの暮らしと歴史を撮る
- ②しまの大自然を撮る
- ③腕を磨きながらしまを巡る



海からみた五島クルーズ。

- ①3島横断クルーズ
- ②ジオクルーズ
- ③サンセットクルーズ

泊まる



島に暮らすように泊まる。

- ①古民家に泊まる
- ②しまの家族になる
- ③しまに暮らすように過ごす



満天の星空に手が届く天然プラネタリウム。

- ①天然プラネタリウム
- ②海のプラネタリウム
- ③教会の光

遊ぶ



大人の秘密基地、プライベートアイランドの旅。

- ①ファミリー・プライベートキャンプ
- ②無人島キャンプ
- ③研修キャンプ



島の大自然を体感する、究極の海遊び。

- ①マリンレジャー・マリンスポーツ
- ②磯遊び
- ③フィッシング

食べる



非日常空間で、食べる。

- ①いろりで食べる
- ②草原で食べる
- ③船の上で食べる



地元の食べ方で、しま料理を、味わう。

- ①やうち(自分の家)のジジババ直伝 海ん味
- ②赤土の贈りもの
- ③五島うどんを食べ歩く
- ④しまの長寿食を食べる

巡る

「巡る」体験メニューのテーマ

カメラを持って、
五島を旅する。



01 しまの暮らしと、歴史を撮る

(ターゲット) 島内外の子ども／学生／写真好き／観光客

●しまの素顔を歩いて撮る

(下五島・小値賀・上五島)

三島には、昔ながらの町並みや昭和の佇まいの商店街など、懐かしい風景がいっぱい。地元の人とおしゃべりしながら撮る旅のスナップは格別です。



[既存類似メニュー]

- ・五島ウォーキング(下五島)
- ・漁師まちさるく(小値賀)

●世界遺産の教会を撮る

(下五島・小値賀・上五島)

世界遺産候補の教会群。弾圧の時代から変わらぬ姿で地域の人たちに守られている感動の一枚を。



●しまの歴史を撮る

(下五島・小値賀・上五島)

三島は、教会だけではなく、神社・仏閣、石垣など歴史的資源の宝庫です。時の流れを感じる一枚を撮ることができます。



02 しまの大自然を撮る

(ターゲット) 島内外の子ども／学生／写真好き／観光客

●海からしまを撮る

(下五島・小値賀・上五島)

海からみた島は、陸上とは全く異なる表情を持っています。海からみた教会、大自然、夕日など、空と海と島のコントラストを楽しむことができます。



●しまの大自然を撮る

(下五島・小値賀・上五島)

断層むき出しの断崖絶壁や巨木、洞窟、生態系など島ならではの大自然のダイナミックな一枚を撮ることができます。



[既存類似メニュー]

- ・ 竹の子島海中公園周遊、デイ・クルーズ、サンセット・クルーズ、嵯峨島海蝕火口崖周遊(下五島)
- ・ 小値賀西方地域サンセットクルージング、船外機船による島めぐり(小値賀)

03 腕を磨きながら、しまを巡る

～プロのカメラマンとしま巡り～

(ターゲット) 島内外の子ども／学生／写真好き／観光客

(下五島)

プロカメラマンの一言で、あなたの写真はまるで別のもの。撮影テクニックを学びながらのしま巡りを楽しんでください。



巡る

「巡る」体験メニューのテーマ

海からみる、五島クルーズ。

01 3島横断クルーズ

(ターゲット) 観光客／アウトドア好き

(下五島・小値賀・上五島)

下五島、小値賀、上五島を縦断するクルーズの旅。優雅な船旅を楽しめます。



〔既存類似メニュー〕

- ・フェリー太古航路(福江—博多)

02 ジオクルーズ ～海洋ジオパーク～

(ターゲット) 観光客／地元小中学生

(下五島・小値賀・上五島)

海からみた島は、陸上とは全く別の表情を持っています。海底火山、断層、洞窟など、海からしか見えないしまの大自然を堪能します。



〔既存類似メニュー〕

- ・船外機船による島めぐり(小値賀)

03 サンセットクルーズ

(ターゲット) 観光客

(下五島・小値賀・上五島)

水平線に沈む夕日を海から臨むことができるサンセットクルージング。しまならではの最高の贅沢をお楽しみください。



〔既存類似メニュー〕

- ・サンセットクルージング(小値賀)

泊まる

「泊まる」体験メニューのテーマ

島に、暮らすように泊まる。

01 古民家に泊まる（古民家ステイ）

（ターゲット） 高齢者／都会の若者

（小値賀）

100年以上の月日、島の暮らしとともにあった古民家が、それぞれに備えた古き美しさに快適性を加え、心豊かにお過ごしいただける宿泊滞在施設として、再び輝きを放ち始めました。

まるごと一棟、一組様貸し切り。

波に隔てられた島だからこそ今に残る、上質な島時間をゆったりとお過ごしてください。



〔既存類似メニュー〕

- ・ 古民家ステイ(7軒)(小値賀)

02 島の家族になる(民泊ステイ)

(ターゲット) 島外の若い女性 (OL) / 島外からの企業研修 / 修学旅行 / 家族連れ

(下五島・小値賀・上五島)

三島には、旅人が一般の家庭に宿泊し家族と同じように生活し食事をともにする「民泊(みんなぱく)」というシステムがあります。島の漁師さんや農家さんなど島の一般のご家庭にホームステイしながら、島暮らしを丸ごと体験してみたいかがでしょうか。



[既存類似メニュー]

- ・ 五島民泊(下五島)
- ・ 小値賀民泊(小値賀)35 軒
- ・ 上五島民泊(上五島)

03 島に暮らすように過ごす

(ターゲット) 島外の移住希望者 / 島内の転勤族 / 島内外の3世代

●島を巡る

(下五島・小値賀・上五島)

地図を片手に気楽な島探訪。もっと詳しく知りたい方は方言たっぷりのガイド付きツアーも楽しめます。



[既存類似メニュー]

- ・ 漁師まちさるく(小値賀:笛吹)
- ・ 神社・神楽ツアー(上五島)

●しまの暮らしと生業を感じる

(下五島・小値賀・上五島)

昔ながらの町並みや商店街、市場など、暮らしの息吹が随所で感じられます。



[既存類似メニュー]

- ・ 魚加工体験、五島ウオーキングのすすめ、堂崎教会巡礼、遣唐使ふるさと館見学(下五島)
- ・ 漁師まちさるく(小値賀:笛吹)
- ・ 神社・神楽ツアー(上五島)

●しまの言葉で暮らす

(下五島・小値賀・上五島)

しまの人々との会話はもちろん方言。人情と愛情たっぷりのおしゃべりを堪能してください。



[既存類似メニュー]

- ・ しまで過ごす時間の全て

●しまの語り部を訪れる

(小値賀)

各集落の生活、歴史、文化、方言を地元の語り部に教えてもらうさるくプログラム。(語り部の家でのお茶付き)



泊まる

「泊まる」体験メニューのテーマ

満天の星空に手が届く、
天然プラネタリウム。

01 天然プラネタリウム

(ターゲット) 都会の 20~30 代 / 都会の親子 / 夏休みの自由研究のテーマに悩む親子

●天然プラネタリウム

(下五島・小値賀・上五島)

満天の星空はまさに天然のプラネタリウム。鬼岳、野崎島、蛤浜などのしまの代表的なスポットで、満天の星空を堪能します。



[既存類似メニュー]

・ 星空観測(下五島)

●星空の下で寝る

～星空キャンプ(下五島)～

鬼岳、高浜、大瀬崎などの天然プラネタリウムの下での星空キャンプ。



02 海のプラネタリウム

(ターゲット) 都会の親子

(下五島・小値賀・上五島)

漁業が盛んな三島では、幻想的な漁火を見ることができます。星空を望む丘からの見学をはじめ、漁火フィッシングやミズイカ漁などの体験メニューも楽しめます。



[既存類似メニュー]

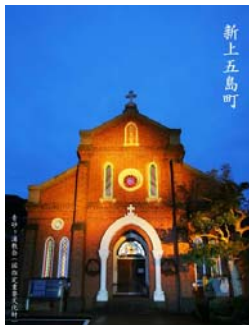
- ・ 漁火フィッシング、ミズイカ漁
(下五島)

03 教会の光 (教会イルミネーション・コンサート)

(ターゲット) カップル／中高年

(上五島)

世界遺産候補の教会群では、クリスマスシーズンにあわせイルミネーションを実施中。また、教会ではチャーチコンサートなど様々なイベントも開催しています。温もりあふれる音と光のハーモニーを堪能してください。



[既存類似メニュー]

- ・ 教会イルミネーション
(上五島)

遊ぶ

「遊ぶ」体験メニューのテーマ

大人の秘密基地
プライベートアイランドの旅。



01 ファミリー・プライベートキャンプ

(ターゲット) 島内外の親子／島外の若者・学生／島外のアウトドア好き

(下五島・上五島)

携帯もゲームもない中での家族とのコミュニケーション。大自然の中での釣り、虫取り、火おこし、ドラム缶風呂など、お父さんの力を発揮できる最高の舞台が待っています。



〔既存類似メニュー〕

- ・ ゆったり漁師体験、男女群島釣り、キャンプファイヤー(下五島)
- ・ 若松の無人島でキャンププログラム(上五島)

02 無人島キャンプ

(ターゲット) 島内外の親子／島外の若者・学生／島外のアウトドア好き

(下五島・上五島)

男心をくすぐる“無人島キャンプ”。一度はやってみたかったサバイバル体験を、快適で安全に満喫できます。



〔既存類似メニュー〕

- ・ 無人島体験、島グルメを満喫五島味の旅(下五島)
- ・ 若松の無人島でキャンププログラム(上五島)

03 研修キャンプ (企業研修、合宿など)

(ターゲット) 島外からの企業研修／修学旅行／島外の子ども会

(小値賀)

企業やサークルなど、研修を目的としたキャンププログラム。何もない環境だからこそ、チームワークとコミュニケーションを生み出します。

〔既存類似メニュー〕

- ・ アイランドツーリズム協会(以降「IT 協会」とする)が受入中(小値賀)

遊ぶ

「遊ぶ」体験メニューのテーマ

島の大自然を体感する、究極の海遊び。

01 マリンレジャー・マリンスポーツ

(ターゲット) 島内外の若者、家族／アウトドア好き／レア好き／島外の健康マニア

●シュノーケリング

(下五島・小値賀・上五島)

気軽な装備で誰もが簡単に海底散策を楽しめます。



[既存類似メニュー]

- ・ シュノーケリング(下五島)
- ・ IT 協会プログラム(小値賀)
- ・ マリンショップで実施中(上五島)

●ダイビング

(下五島・小値賀・上五島)

神秘の海の本格的に堪能できるダイビング。



[既存類似メニュー]

- ・ スキューバダイビング(下五島)
- ・ マリンショップで実施中(上五島)

●各種マリンレジャー(上五島)

子どもから大人まで、バナナボートやフライボートなど、ダイナミックに海を満喫。

[既存類似メニュー]

- ・ バナナボート体験(上五島)

●シーカヤック・ヨット(下五島・小値賀・上五島)

海風を体で感じるシーカヤック・ヨット体験。

[既存類似メニュー]

- ・ IT 協会プログラム(小値賀)
- ・ シーカヤック体験(上五島)

●ドルフィンスイム(上五島)

イルカと海を泳ぐ神秘的な体験を楽しめます。

[既存類似メニュー]

- ・ 毎年夏の「砂の祭典」でサンドアートを展示(上五島)

●サンドアート

(下五島・小値賀・上五島)

02 磯遊び

(ターゲット) 島内外の若者

(下五島)

灰タコとりなど、魚つかみ、ヤドカリとりなど、生物の宝庫の磯遊びを堪能

[既存類似メニュー]

- ・ 磯遊び(下五島)

03 フィッシング(釣り)

(ターゲット) 島内外の家族/釣りマニア

●ファミリー向け釣り体験

(下五島・小値賀・上五島)

子どもから大人まで、気軽に釣りを楽しめます。



[既存類似メニュー]

- ・ あらかぶ釣り、防波堤釣り、いかだ釣り、民泊体験でアジ釣り等を実施、「ファミリーあじ釣り大会」商工会青年部OB会主催で年1回開催(小値賀)
- ・ 旅行会社による釣りツアー商品(上五島)

●(仮)フィッシング・ワールドカップ

全国・世界レベルでの釣り大会

●本格派釣り体験 (下五島)

国内屈指の釣りのメッカである男女群島をはじめとする本格派向けフィッシングを楽しめます。



[既存類似メニュー]

- ・ 民間による瀬渡しなど(三島)

[既存類似メニュー]

- ・ 民間釣りメーカーによる大会会場(下五島)

食べる



「他別」体験メニューのテーマ

非日常空間で、食べる。

01 いろいろで食べる

(ターゲット) 島外の親子／グルメ好きの女性

下五島の囲炉裏焼き料理。新鮮な魚介類や採れたて野菜を炭火で楽しめます。

〔既存類似メニュー〕

- ・ 囲炉裏焼き料理(下五島)

02 草原で食べる

(ターゲット) 島外の親子／グルメ好きの女性

(小値賀・下五島)

野原で夕陽を見ながら、魚や貝など地元食材でバーベキュー。海辺で釣った魚を捌いて食べるなど、非日常的な空間で、最高の食材が味わえます。そして、暗くなれば星空や漁火など神秘の光も堪能できます。

〔既存類似メニュー〕

- ・ 無人島体験(下五島)
- ・ IT協会の子供向けプログラム「宝島」(小値賀)

03 船の上で食べる

(ターゲット) 島外の親子／グルメ好きの女性

●船の上で食べる(上五島)

海を満喫するクルージング。海から島を眺めながらの船上料理が楽しめます。

〔既存類似メニュー〕

- ・ イカダの上で食事をするプログラム(上五島)

地元の食べ方で、
しま料理を、味わう。



01 やうち(自分の家)のジジババ直伝 海ん味

(ターゲット) 島外の観光客／女性

●やうち(自分の家)の ジジババ直伝 海ん味 (下五島・小値賀・上五島)

ごまたっぷりの白和え、魚の茶漬
けなど、地域ごと・家ごとに違う家
庭の味。究極の田舎料理を味わ
います。



●本物の魚を食べる (下五島・小値賀・上五島)

日本屈指の漁場で採れる超新鮮
な魚を、地元の食べ方で堪能。
小値賀のオールマイティ選手“生
ズシ”の凄さも体験できます。



[既存類似メニュー]

- ・ 郷土料理に挑戦、カンコロ餅つき(下五島)
- ・ 「ふるさとの味があちゃんの味」つたえよう会の活動 料理コンテスト、各学校の料理教室、クリスマス会(小値賀)
- ・ 民泊での地元食の提供(上五島)

[既存類似メニュー]

- ・ 魚のつかみどり体験
魚加工体験、五島民泊
魚のつかみどり体験(下五島)
- ・ 漁師料理の食体験(上五島)

02 赤土の贈りもの ～小値賀の野菜をはらいっばい～

(ターゲット) 島外の観光客／女性

(小値賀)

ミネラルたっぷりの赤土で育った小値賀の野菜を堪能します。



03 五島うどんを食べ歩く

(上五島)

有川～船崎～奈良尾を舞台とした五島うどんの食べ比べツアー。究極の生麺との感動の出逢い。



[既存類似メニュー]

- ・製麺所企画による五島うどん食べ比べイベント

04 しまの長寿食を食べる

(下五島・小値賀・上五島)

ツワブキ、アオサ、磯ガキ、かんころ餅、ミナなど、3島ならではの長寿食を美味しく食べます。



[既存類似メニュー]

- ・かんころ餅つき(下五島)
- ・民泊内で地元食の提供(上五島)

第2章

体験メニューを実現するための
アクションプログラム

1 体験メニューを実現するために必要なこと

第1章の体験メニューを実現するためには、その準備としてハード・ソフト両面の取り組みが必要です。そこで、協議会では「ととのえる」、「つなぐ」、「うごかす」、「つたえる」をキーワードに、それぞれの課題を整理しました。

キーワード	体験メニューテーマ	ハード	
		ととのえる	つなぐ
巡る	カメラを持って、五島を旅する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絶景スポットなど危険場所での安全対策 (アクセス道の草刈、手すりやロープなど) ・ 街灯の整備 (暗い時間でも行けるように) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通手段の確保 ・ お勧め撮影スポットの地点サイン・案内版の整備 ・ 誘導サインの整備
	海からみた五島クルーズ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ クルーズ船の確保 ・ ヨットハーバーの整備 ・ マリンハウス (シャワー、風呂等) 施設整備 ・ 安全面の確保 (ライフジャケット、漁船の手すり等) 	
泊まる	島に暮らすように泊まる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古民家再生 ・ 若松小学校の活用 (大部屋と小部屋を活用した宿泊) ※消防法、建築基準法を遵守 ・ 体験農園の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ まち歩き用のサイン ・ 移動手段の確保 → レンタカーを格安で提供する 優遇措置の検討 → 送迎システムなど
	満天の星空に手が届く天然プラネタリウム。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察ポイントの整備 (天体望遠鏡、デッキチェアなど) ・ 船のトイレ整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段の確保 (宿泊先と連携) ・ バスの手配
遊ぶ	大人の秘密基地プライベートアイランドの旅。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無人島でのキャンプ場整備 ・ 水道などのインフラ整備 ・ 船着き場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無人島までの移動手段の確保 → 定期船、海上タクシーの利用
	島の大自然を体感する、究極の海遊び。	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレ、休憩所、更衣室等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レンタサイクル、レンタカーの充実 ・ 統一デザインの案内板整備
食べる	非日常空間で、食べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バーベキュー環境などの整備 ・ トイレの整備 ・ イカダやイケスの確保 (漁協と連携) ・ 体験用設備の整備 	
	地元の食べ方で、しま料理を、味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生簀の整備 ・ 体験用設備の整備 ・ 食べることができる食堂、民泊施設の整備 	

ソフト	
うごかす	つたえる
<ul style="list-style-type: none"> ・ フォトコンテストの開催 (景観スポットや穴場をコンテストで発掘) ・ 案内ガイドの育成 ・ 教会などの撮影マナー ・ クルーズ事業の事業化 ・ さるくプログラムづくり (複数) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影スポットマップやガイドブックの作成 ・ フォトコンテストの開催
<ul style="list-style-type: none"> ・ クルーズ事業者の確保 (航路事業者と連携、漁師さんとの連携) ・ クルーズ商品の企画・商品化 (料金設定) ・ 既存航路を活用したクルーズ事業 ・ カヌーインストラクターの育成 ・ 案内者の確保 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元運営体制の整備 ・ UI ターン希望者のお試し生活プログラムづくり ・ 歴史・漁業・農業など各地域の特徴を活かしたコースづくり、さるく・体験プログラムづくり、住民とのふれあい ・ ガイド・語り部の確保・育成 ・ 商店街・漁協等との連携強化 ・ 住民理解の促進 ・ 地域の隠れた魅力の掘り起し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マップ、パンフレットの作成・PR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 星空ガイドの育成 ・ 宿泊に繋げるための夜観光プログラム (船から星空観察、野生の鹿ウォッチングなど) ・ 漁師さんや漁協との連携強化 ・ 民泊との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 星空マップの作成
<ul style="list-style-type: none"> ・ 受け皿の整備 ・ 受入ルールづくり、安全面の確保 ・ ガイド・世話人の育成 (地元民) ・ 漁協との連携 ・ 無人島での体験プログラムづくり (磯遊び、釣り、貝採り、箱メガネ、シーグラス、バーベキューなど) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイドの育成 ・ 漁協との調整 (漁業者の副収入に繋げる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガイド雑誌の作成
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営・実行者の確保 ・ 企画・運営者としての旅館・民宿の参画 ・ 飲食店、婦人会等の地元の協力要請 ・ スタッフのシステム化 ・ 食材の調達方法の確保 ・ 利用マナーづくり (ごみ問題の解決など) ・ 体験型イベントとの連携 ・ 地元人による屋外食事会の発展型検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外での旬の食事情報の一元化
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民泊、旅館との連携強化 (メニュー化など) ・ 料理の開発 (ピーナッツを使った料理など) ・ 出荷出来ない素材の効率的な調達 ・ 美味しい魚提供のための漁協の協力 ・ 体験インストラクター等の育成 ・ 食材の到着手段の確保 ・ 祭り、イベント時に食べさせる工夫 ・ 伝承教室やコンテストの実施 ・ 活魚の確保 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ しまの料理の情報発信 ・ 昔ながらの伝承教室 ・ 料理コンテストの実施 ・ 食事処の情報発信

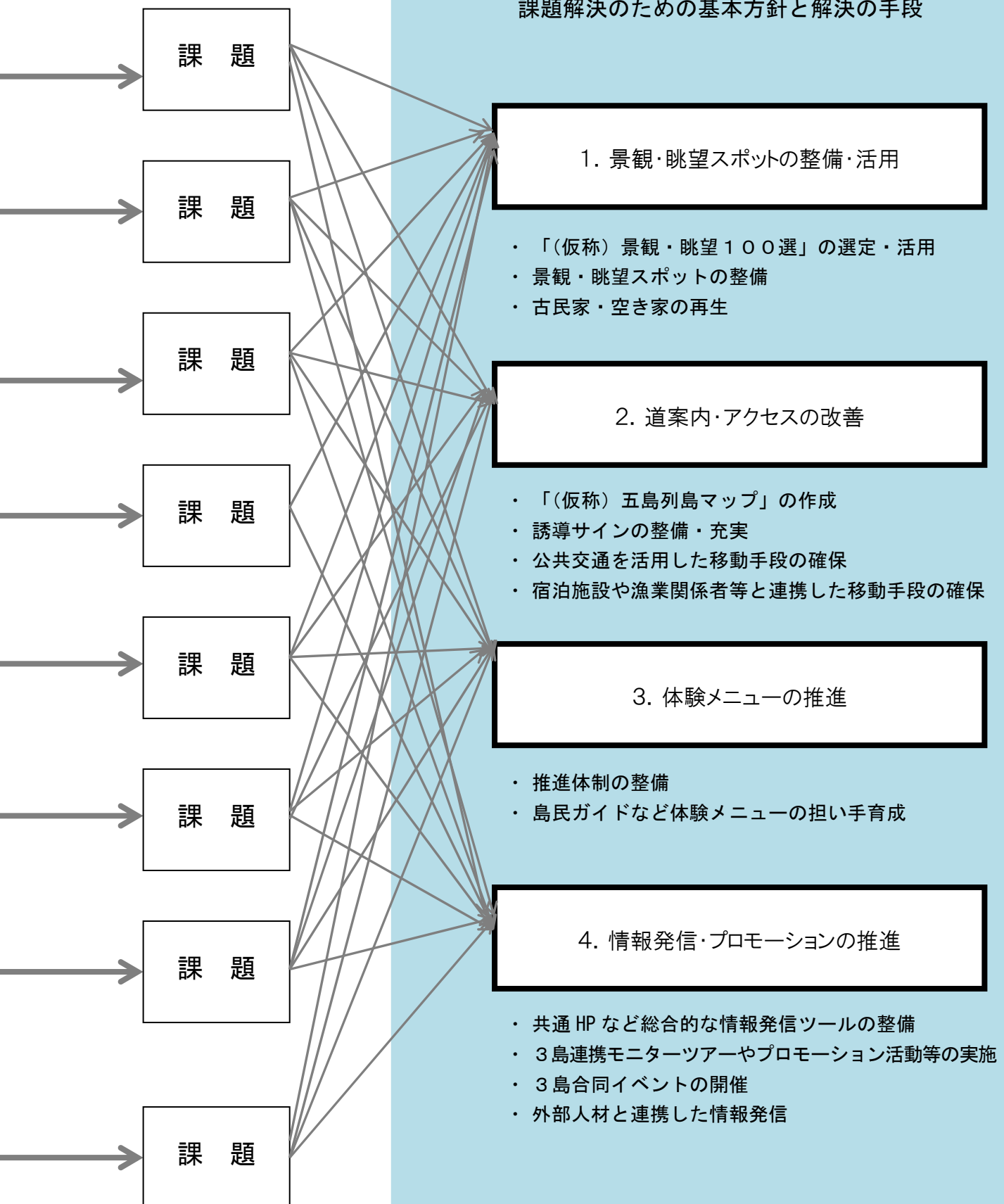
2 課題解決のための方向性と解決の手段

前項でまとめた課題は総数で 100 以上。これらを集約し 4 つの方向性（基本方針）に整理しました。

さらに、その方向性を紐解いていくと、課題解決の具体的な手段が見えてきました。

やりたいこと（体験メニュー）	
巡る	カメラを持って、五島を旅する。 <ul style="list-style-type: none"> ①しまの暮らしと歴史を撮る ②しまの大自然を撮る ③腕を磨きながらしまを巡る
	海からみた五島クルーズ。 <ul style="list-style-type: none"> ① 3 島横断クルーズ ②ジオクルーズ ③サンセットクルーズ
泊まる	島に暮らすように泊まる。 <ul style="list-style-type: none"> ①古民家に泊まる ②しまの家族になる ③しまに暮らすように過ごす
	満天の星空に手が届く天然プラネタリウム。 <ul style="list-style-type: none"> ①天然プラネタリウム ②海のプラネタリウム ③教会の光
遊ぶ	大人の秘密基地 プライベートアイランドの旅。 <ul style="list-style-type: none"> ①ファミリー・プライベートキャンプ ②無人島キャンプ ③研修キャンプ
	島の大自然を体感する究極の海遊び。 <ul style="list-style-type: none"> ①マリンレジャー ②磯遊び ③フィッシング
食べる	非日常空間で、食べる。 <ul style="list-style-type: none"> ①いろり食べる ②草原で食べる ③船の上で食べる
	地元の食べ方で、しま料理を、味わう。 <ul style="list-style-type: none"> ①やうちのジジババ直伝 海ん味 ②赤土の贈りもの ③五島うどんを食べ歩く ④しまの長寿食を食べる

必要なこと（課題）



3 実現化に向けた戦略

アクションプログラムの最終段階として、解決の手段を実現に移すための戦略を、それぞれの取り組みの特性を考慮し次の4つにまとめました。

- ①五島列島として取り組むもの
- ②広域で共通のコンセプトをもち「行政」+「市民」の協力により実現をめざすもの
- ③段階的に進めるもの
- ④既存の事業などに協議会のアイデアを活かしていくもの

この4つの戦略は、特に3地域が一体となって着実に進めていきたいものは①や②にあたり、地域の個性を活かしながら進めていくものは③や④であるとも言えられます。

来年度からはこの戦略に基づき、3地域が一体となって進めていくもの、地域の個性を活かしながら熟度に応じ進めていくものなど、メリハリをつけた取り組みを行います。

—基本方針と具体の取り組み—

1. 景観・眺望スポットの整備・活用

「(仮称)景観・眺望100選」の選定・活用 ■

景観・眺望スポットの整備 ■

古民家・空き家の再生 ■

2. 道案内・アクセスの改善

「(仮称)五島列島マップ」の作成 ■

誘導サインの整備・充実 ■

公共交通を活用した移動手段の確保 ■

宿泊施設や漁業関係者等と連携した移動手段の確保 ■

3. 体験メニューの推進

体験メニュー推進体制の整備 ■

島民ガイドなど体験メニューの担い手育成 ■

4. 情報発信・プロモーションの推進

共通HPなど総合的な情報発信ツールの整備 ■

3島連携モニターツアーやプロモーション活動等の実施 ■

3島合同イベントの開催 ■

外部人材と連携した情報発信 ■

実現化に向けた戦略

- 「五島列島」としての取り組みが重要。
「協議会」が主体となり来年度から実現をめざす

1-1 「(仮称) 景観・眺望100選」の選定・活用

1-2 「(仮称) 五島列島マップ」の作成

- 広域の統一コンセプトを持って
「行政」＋「住民」の協力により実現をめざす

2-1 景観・眺望スポットの整備

2-2 誘導サインの整備・充実

- 実現方法を模索しながら、段階的に進める

3-1 古民家・空き家の再生

3-2 公共交通を活用した移動手段の確保

3-3 宿泊施設や漁業関係者等と連携した移動手段の確保

3-4 体験メニュー推進体制の整備

3-5 島民ガイドなど体験メニューの担い手育成

- 協議会で出たアイデアを活かしていく

4-1 共通HPなど総合的な情報発信ツールの整備

4-2 3島連携モニターツアーやプロモーション活動等の実施

4-3 3島合同イベントの開催



- 豊富な人材同士を繋げ、活かしていく

1 「五島列島」としての取り組みが重要。 「協議会」が主体となり来年度から実現をめざす

1-1 五島・小値賀・新上五島の「(仮称) 景観・眺望100選」の選定・活用

目的	・ 五島列島の素晴らしい景観・眺望を内外の人に知ってもらうため
実施主体	・ 協議会（実作業は部会形式などを検討）
内容	・ フォトコンテストを開催し、五島列島としての優れた景観・眺望を選定する
進め方・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考箇所数、選考方法、テーマなどの検討 ・ 既存事業の活用可能性の検討 ・ 情報発信方法、応募方法の検討(フェイスブックなどの活用)

1-2 「(仮称) 五島列島マップ」の作成

目的	・ “五島列島”としての案内やPRの基本となる情報発信手段とするため
実施主体	・ 協議会（実作業は部会形式などを検討）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外からの目を意識した“五島列島全体”のマップ ・ 五島列島全体→3地域の詳細へ繋がるような展開 ・ フォトコンテストで選ばれた100選と連携 ・ まち歩きや周遊につながるようなマップ
進め方・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存マップの活用可能性の検討 ・ フォトコンテスト、景観・眺望スポット整備事業との連携 ・ 案内表示や誘導サインの整備との連携 ・ モデルコースの選定



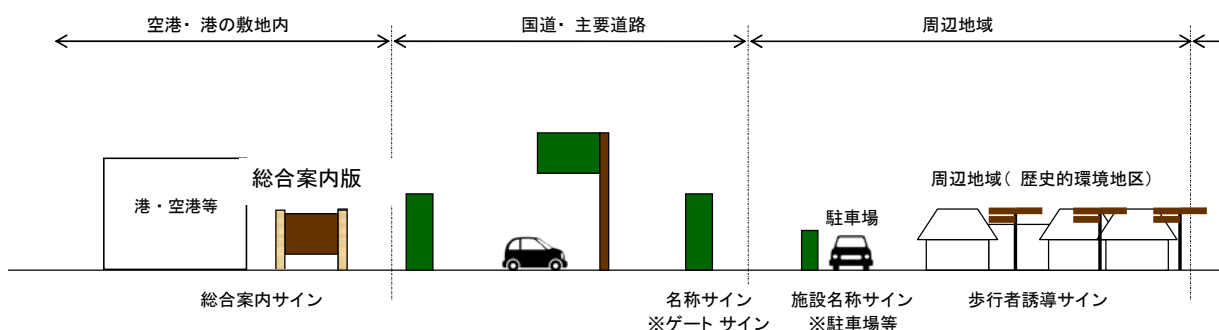
2 広域の統一コンセプトを持って 「行政」＋「住民」の協力により実現をめざすもの

2-1 景観・眺望スポットの整備

目的	<ul style="list-style-type: none"> 五島列島の素晴らしい景観・眺望を守り・活用するため
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 行政（ハード整備など） 住民・地元（維持管理や活用など）
内容	<ul style="list-style-type: none"> 景観・眺望 100 選スポットなどを中心とした視点場の整備 トイレや誘導サイン、アクセス道など必要なハード整備
進め方・課題	<ul style="list-style-type: none"> 協議会が中心となり整備イメージをまとめる ボランティアツアーなどの企画検討 自治会・町内会だけに頼らない維持管理の仕組みづくり

2-2 誘導サインの整備・充実

目的	<ul style="list-style-type: none"> 五島列島の素晴らしい景観・眺望を知ってもらい、且つ円滑に移動してもらうため
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 行政（ハード整備・維持管理など）
内容	<ul style="list-style-type: none"> 五島列島としての統一的基本コンセプトを定める （デザインなどを規定するものではなく考え方を中心とした統一） 各地の景観にあった素材や規格・デザインを用いる
進め方・課題	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の整備状況にあわせた取り組み 財源の確保（各種補助金などの適用検討）



3 実現方法を模索しながら、段階的に進めるもの

3-1 古民家・空き家の再生

目的	<ul style="list-style-type: none"> 古民家や空き家、空き校舎などを再生し、観光客の宿泊場所として、また、UI ターンの受け皿とするため
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 行政・地域・協議会など
内容	<ul style="list-style-type: none"> 古民家や空き家を宿泊場所や住まいの場所として利用できるよう再生する
進め方・課題	<ul style="list-style-type: none"> 空き家は多いが貸さない風潮があるため、家主の協力が必要 事業化には強力な組織が必要 主体は行政や事業者だが、活用・利用方法については地元住民の意見も聞く

3-2 公共交通を活用した移動手段の確保

目的	<ul style="list-style-type: none"> 島内観光の新たな移動手段として、公共交通機関の利用促進を図るため
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者 など
内容	<ul style="list-style-type: none"> 景観・眺望スポットを巡るダイヤやルートの情報発信の強化 ワンデーフリーパスポートなどの観光客向けのお得な商品の開発
進め方・課題	<ul style="list-style-type: none"> バスやタクシーが少なく、現実的には乗継が困難。可能性についての見極め必要 ターミナルの仮眠室の充実など交通結節点の充実

3-3 宿泊施設や漁業関係者等と連携した移動手段の確保

目的	<ul style="list-style-type: none"> 星空観察など夜間の移動や、絶景スポットなどアクセスが難しいところへの円滑な移動を行うため
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設・漁業関係者・体験プログラム実施主体 など
内容	<ul style="list-style-type: none"> 星空や漁火鑑賞などの夜間ツアーの実施 絶景スポットなどへの移動システムの構築
進め方・課題	<ul style="list-style-type: none"> 2次離島への料金が低いという課題について、漁業関係者による移動手段の確保は、事故などの万が一の保険・リスクの面で難しいのではないかと 民泊の活用は旅行業的に難しいのではないかと 事業者の経営努力を促すことが必要 体験プログラムとの連携、既存事業の活用など

3-4 体験メニュー推進体制の整備

目的	<ul style="list-style-type: none">・ 五島列島が一体となった体験メニューをつくり、観光客や地元の人に楽しんでもらったり、地域の魅力を体感してもらいたい
実施主体	<ul style="list-style-type: none">・ 協議会（実作業は部会形式などを検討）・ 既存の体験メニューの実施組織（観光協会、NPO など）・ 観光関連事業者
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 本協議会で検討した体験メニューを地域の観光協会や NPO などと連携し、体験メニューを開発・実践・ 情報発信（既存体験メニューのまとめ含む）
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 作業部会を立ち上げて突っ込んだ議論が必要・ 全体を統括・プロデュースする人材（プロデューサー）の招聘が必要

3-5 島民ガイドなど体験メニューの担い手育成

目的	<ul style="list-style-type: none">・ 3地域が連携し、体験メニューの担い手を育成するため（レベルアップ含む）
実施主体	<ul style="list-style-type: none">・ 行政、観光協会・アイランドツーリズム協会、協議会、事業者など
内容	<ul style="list-style-type: none">・ 3地域合同の研修会等の開催（接遇など）
課題	<ul style="list-style-type: none">・ プロフェッショナルなガイドを育成するため資格や報酬などのシステム化も必要・ 現状では団体同士の連携はほとんどない・ 世界遺産など共通のテーマなどから開始すべきではないか・ 子どもガイドなどの地域を巻き込む工夫

4 協議会で出たアイデアを活かしていく

4-1 共通 HP など総合的な情報発信ツールの整備

目的	・ 五島列島としての総合的な情報発信を行うため
実施主体	・ 協議会（実作業は部会形式などを検討）
内容	・ 景観・眺望 100 選や五島列島マップなどと連携したホームページの制作
進め方・課題	・ 財源の確保 ・ 管理体制の確立 ・ 既存ホームページや事業者のホームページとの連携

4-2 3島連携モニターツアーやプロモーション活動等の実施

目的	・ 3地域が連携し五島列島としてのプロモーション活動を行いブランド力の強化や誘客促進につなげるため
実施主体	・ 行政、観光関連機関、観光関連事業者 など
内容	・ 3島連携によるモニターツアーの開催、情報発信の強化 など
進め方・課題	・ 各地域における観光事業・施策展開のワンストップ化

4-3 3島合同イベントの開催

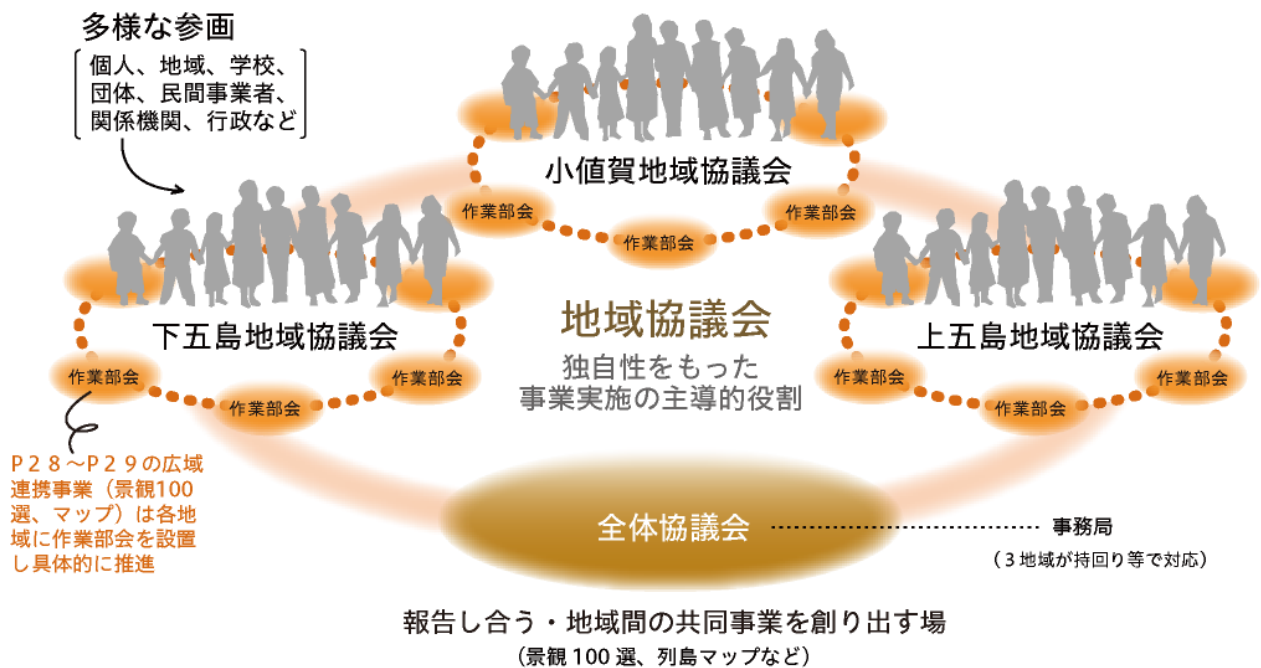
目的	・ 3地域の誘客促進や知名度向上のため
実施主体	・ 行政、民間 など
内容	・ 3地域合同でのイベント開催
進め方・課題	・ 一過性にならない工夫 ・ スポンサー探し、財源確保 ・ 民間同士の協力体制づくり ・ 五島の日など既存イベントの活用

4. 推進体制

アクションプログラムの推進にあたっては、各地域の協議会が、それぞれに独自性をもって、事業の実施に主導的役割を果たしていくことが望まれます。そこで、各地域の取り組みや進捗状況に応じ、より具体的且つ専門的な活動を行う「作業部会（アクションチーム）」を、それぞれ立ち上げ、検討・実践を行う体制をつくります。

作業部会は基本的に地域の熟度により必要に応じて設置するものとなりますが、前項P28～P29に示した広域で取り組むもの（例：景観100選など）は、各地域で作業部会を設置し、地域が連携しながら実現化をめざします。

なお、3地域の協議会が、「報告し合う」「地域間の共同事業を創り出す」場として、全体協議会を引き続き開催します。



(参考資料) 活用可能と思われる平成 25 年度時点での補助金等メニュー (例)

[出典: 長崎県市町村振興協会出版 「平成 24 年度版 国県支出金等一覧表」より抜粋]

以下の一覧は、本プログラムの活動に関連すると思われる補助金等メニューを出典元より抜粋した一例である。活動の時期等によりこれら以外の支援制度が存在することなども想定されるため、制度活用の際は再度確認が必要である。

県担当課	事業名	事業内容及び採択基準 基準事業費	対象経費の 主な内容	経費の負担割合			
				国	県	市町	
地域振興課	観光交流まちづくり推進事業	観光地づくり重点支援事業	長崎県観光振興条例第14条に規定する観光地づくり重点支援地区、又は重点支援分野に係る事業	イベント運営費 広報宣伝費 調査・活動費 施設整備	14	4/10以内 上限:45,000千円 下限:1,000千円	6/10以上
		広域連携事業	実施区域が複数の市町にまたがる広域的な事業であり、かつ県に「事業実施計画」を提出して承認を受けた事業	イベント運営費 広報宣伝費 調査・活動費 施設整備		4/10以内 上限:20,000千円 下限:1,000千円	6/10以上
		観光圏整備事業	観光圏整備法に基づき国土交通大臣の認定を受けた観光圏整備実施計画にかかる事業	イベント運営費 広報宣伝費 調査・活動費 施設整備		2/10以内 下限:2,000千円	4/10以上
		元気な観光地応援事業	元気な観光地応援事業の採択を受けたプロジェクトにかかる事業	イベント運営費 広報宣伝費 調査・活動費 施設整備		6/10以内 上限:15,000千円 下限:1,000千円	4/10以上
	地域づくり推進事業	市町又は地方公共団体の組合が定めた「まちづくりのテーマ」に基づき実施する地域間交流事業	イベント運営費 広報宣伝費 調査・活動費 施設整備		4/10以内 上限:15,000千円 下限:1,000千円	6/10以上	
	美しい景観形成推進事業	協働体制構築事業	提案等に基づき市町が計画的に行う、市町と住民等との協働体制の構築に資する事業	活動費		2,000千円以下/1市町 (複数年にわたる場合、 6,000千円/1市町)	
		景観形成関連事業	提案等に基づき市町の計画に沿って行われる建造物等の改修、保全など地域の良好な景観形成に資する事業、又は、当該事業に対して補助する事業	施設整備		15,000千円以下/1市町 (複数年にわたる場合、 40,000千円/1市町)	
		景観資産助成事業	まちなみ景観資産に登録された建造物の所有者等が行う当該建造物の保全又は修景に対して助成する事業	施設整備		4/10以内 上限:2,000千円 下限:100千円 (市町所有のものは 500千円)	6/10以上
	輝く地域再生事業	地域課題の解決による地域再生や地域資源を活かした地域づくりに資する事業で、雇用創出、地域産業の振興、物産振興、地域活力の向上等につながる事業	事業実施に必要な経費		4/10以内 上限:15,000千円 下限:1,000千円	6/10以上	
	「がんばらんば長崎」地域づくり支援事業	地域資源を有効に活用しながら、地域課題の解決に向けて地域が総力を挙げて取り組む地域活性化プロジェクトの中で、最も高い効果が得られるものに対し交付金を交付	事業実施に必要な経費 (市町職員人件費及び用地取得費を除く)		6/10以内 上限:100百万円	4/10以上	
	地域の元気づくり応援事業		地域が一体となって自発的に地域課題の解決に取り組み、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした事業に対する支援	事業実施に必要な経費 (人件費、食料費及び旅費を除く)		10/10以内	
			自主防災組織の組成を通じて、地域防災力を強化・促進することを目的とした事業に対する支援	事業実施に必要な経費 (人件費、食料費及び旅費を除く)		10/10以内	
	過疎地域等自立活性化推進交付金	過疎地域等自立活性化推進事業	・産業振興(スモールビジネス振興) ・生活の安心・安全確保 ・集落の維持・活性化対策 ・移住・交流・若者の定住促進対策 ・地域文化伝承対策 ・環境貢献施策の推進 ※申請額1,000万円以上の事業が対象	事務費	1,000万円		左記国負担額の充当後残額
		過疎地域集落再編整備事業	・集落等移転事業 ・定住促進団地整備事業 ・定住促進空き家活用事業 ・季節居住団地整備事業	工事請負費	(1/2)以内		1/2以上
		過疎地域遊休施設再整備事業	・現在使用されていない家屋、廃校舎、その他本来の用途を廃止した施設等遊休施設を有効活用するものであること ・都市部等との人・文化・情報等による地域間交流を図るものであり、交流を図る上で都市部等との連携が図られているもの。又は、地域の振興に資するものであること。 ・一体的なコンセプトによって地域に所在する既存の施設との調和が図られ、またそのような施設と連携して交流事業等を推進するものであること ・自然環境や街並み景観に配慮したものであること ・文化、歴史等の地域の特性・魅力をいかしたものであること	工事請負費	(1/3)以内		2/3以上
長崎をかえる人財誘致プロジェクト推進費	市町と連携しながら、都会からの特色ある人材を「地域おこし協力隊」の制度を活用して呼び込み、地域の魅力アップや起業・定住による地域の活性化を推進	市町が採用した地域おこし協力隊員の報償費・活動費等		5/10以内 上限:2,000千円	5/10以上		

県担当課	事業名	事業内容及び採択基準 基準事業費	対象経費の 主要内容	経費の負担割合		
				国	県	市町
総合・新幹線・交通対策課	生活バス路線運行対策費補助金	地域住民の日常生活に不可欠なバス路線等の運行を確保するため、乗合バス事業者等に対する補助金	運行費補助金		1/2	1/2
	個別保存管理計画等策定事業補助金	世界遺産の構成資産候補の個別保存計画等の策定を支援することにより、世界遺産への登録を推進する	国又は県指定の有形文化財及び史跡名勝天然記念物等で、市町、管理団体(文化財保護法第113条第1項による管理団体)又は所有者が行う世界遺産の構成資産候補の保存活用計画又は保存管理計画の策定等に要する経費		1/2	1/2
	世界遺産保存・活用等行動計画策定事業補助金	世界遺産の構成資産候補の保存及び活用、その周辺の景観及び環境の保全等を定める行動計画等の策定を支援することにより、世界遺産への登録を推進する。	世界遺産の構成資産候補の保存及び活用、その周辺の景観及び環境の保全等を定める行動計画等を市町が策定するために要する費用		1/2	1/2
	構成資産候補調査等事業補助金	世界遺産の構成資産候補についての調査等事業を支援することにより、世界遺産への登録を推進する	世界遺産の構成資産候補について、市町が実施する調査等事業に要する経費		1/2	1/2
	世界遺産保存・活用等整備事業補助金	世界遺産の構成資産候補の保存及び活用を支援する	世界遺産の構成資産候補の国有有形文化財の建造物で、市町、管理団体又は所有者が行う保全・活用等整備に要する経費(保存修理は民間所有のもののみ)	1/2	整備活用 1/5 保存修理 1/30 (別途学芸文化課1/6)	整備活用 3/10 保存修理 1/6
世界遺産登録推進室	世界遺産整備活用事業費補助金	構成資産周辺の景観阻害要因等に対する修景・景観整備事業やソフト事業(資産等保護の母体となる集落内の人材育成や案内地図作成など)。世界遺産構成資産を活かした活用計画(整備活用計画、アクションプラン等)に基づき実施される事業で、地域の世界遺産構成資産を活かした観光振興・地域活性化に資する事業等で他の補助制度の活用が見込めないもの	修景・景観整備計画等策定事業、資産保護の母体となる集落等の人材育成など集落等の支援体制構築事業、構成資産及び緩衝地帯における修景・景観整備等の事業		市町所有 1/2 民間所有 3/8	市町所有 1/2 民間所有 3/8
	長崎県コンベンション開催助成事業	市町又はコンベンション協会等が行う、コンベンション開催への助成金交付事業	コンベンション開催に要する経費		延べ宿泊人数に応じた支給基準額の1/2以内	延べ宿泊人数に応じた支給基準額の1/2以内
	外国人観光客受入施設グレードアップ推進事業	市町等が行う、地域における外国人観光客の受入向上の取組のうち、宿泊施設等の利便性及び快適性の向上のための施設整備への助成金交付事業	外国人観光客の受入施設等の整備に要する経費		1/3以内	1/3以内
観光振興課	歴史文化を活かした地域提案型観光創出事業(歴史・文化ガイド推進事業)	本県の歴史・文化の魅力やドラマを観光客に伝えうる歴史観光ガイドの育成、地域において持続的に育成を行うためのシステムの構築の推進を図る。(補助対象者:市町、観光協会、観光ガイド団体等)	「旅する長崎学」等を活用した長崎の歴史・文化を活かせる観光ガイドの育成や教材の作成、研究会の設置等に要する経費		1/2以内	1/2以内
	長寿社会課	元気高齢者による地域づくり事業	地域協議会運営経費及びコミュニティカフェ設置にかかる経費への補助	補助費	1/2 2/3	1/2 1/3
漁政課	ながさき漁村・漁港高度利用プロジェクト推進事業	漁村の雇用創出と漁家所得向上を図るため、水産業を核とした地域活性化プラン検討実施のため市町が設置する地域協議会の運営経費及びプラン検討に伴う試験的取組の支持等	地域協議会運営経費 試験的取組実施経費		1/2 1/2	
水産振興課	(国)産地水産業強化支援事業	漁村の魅力向上	流通作業保管施設、新規就業者活動拠点施設など	対象により異なる	対象により異なる	
	(県)産地水産業施設整備支援事業					
漁港漁場課	漁村コミュニティ基盤整備	「人、もの、情報」が循環するむらづくり推進に必要な生活環境基盤等の整備を行う事業 ①生活基盤施設整備事業 ②交流基盤施設整備事業 ③情報基盤施設整備事業	工事請負費 事務費	50 50 ③ 1/3	(17.5) ②のうち環境施設整備に係る分 0 0	32.5 50 2/3

県担当課	事業名	事業内容及び採択基準 基準事業費	対象経費の 主な内容	経費の負担割合		
				国	県	市町
農政課	長崎県グリーン・ツーリズム推進事業	滞在型グリーン・ツーリズムを推進するため、地域が連携して取り組む受入体制づくりや誘客につながる取り組み等に対する助成	推進事業費		2/5	1/10
		農山漁村で育まれた自然環境・農村生活・農村文化等を活かしたグリーン・ツーリズムの推進により、都市の農村の交流を通じて、農山村地域の活性化を図る	推進事業費		3/10	1/10
	ながさき農山村活性化支援事業	市町が選定するモデル集落内の様々な団体が構成する地域連携組織が行う活性化計画策定や活動費の助成	推進事業費		10/10	
農業経営課	担い手経営強化推進事業	経営改善に係る経営相談、認定農業者へのフォローアップ、集落営農の法人化、経営継承に係る活動経費を助成	事業費		1/2	1/2
	担い手育成強化支援事業	担い手公社が行う新規就農者受入研修に係る研修手当に対する助成	研修手当		1/2	1/2
農産加工・流通室	ながさき地産地消総合推進事業費	地域における日本型食生活等の普及促進	推進事業費	1/2		
		学校給食等メニュー開発等の支援	推進事業費		1/2	
		魚食講習会の開催等の支援	推進事業費		1/3	
		長崎さかな祭り(イベント)の開催等の支援	推進事業費		1/2	
林政課	ながさき森林づくり担い手対策事業	1. 林業技術技能向上事業 高性能林業機械等オペレーター養成事業 ・事業内容 高性能林業機械等の優れたオペレーターを養成するために要する経費の一部	事業費		1/2	1/4
		2. 福利厚生事業 社会保険制度加入促進事業 ・事業内容 森林組合基幹作業員の社会保険制度(健康保険・農林年金・雇用保険・中小企業退職金共済制度)の加入に要する経費のうち事業主負担にかかる経費の一部助成	事業費		1/3	1/3
	五島ツバキ増殖施設整備事業	五島産ツバキ苗木の生産施設の整備に対する支援	事業費		4.75/10	4.75/10
港湾課	青方港ターミナルビル整備事業交付金	青方港ターミナルビル整備事業を促進するため、町債元利償還額から地方交付税交付金算入額控除後の1/2を交付する	元利償還金		1/2	1/2
都市計画課・住宅課	街なみ環境整備事業	街なみ環境整備	工事請負費	(1/2)		1/2
		街なみ整備助成	工事請負費	(1/3)		1/3
都市計画課	暮らし・にぎわい再生事業	中心市街地の再生を図るため、都市機能のまちなか立地支援及び多目的広場の整備等を総合的に支援し、まちなかに公共施設等の都市機能等の導入を図る事業	委託料 移転補償費 工事請負費	(1/3~2/5)		2/5~2/3
	都市交通システム整備事業	総合的な都市交通戦略を推進する、自由通路、地下街、駐車場等の公共的空間及び公共交通等の都市交通システムの整備に対する包括的支援	工事請負費 委託料	(1/3)		2/3
	街路事業	道路改築 橋梁整備 市街地再開発事業等管理者負担金	工事請負費 用地費	(1/2) 地域高規格(5.5/10) 離島(5.5/10)		1/2 4.5/10 4.5/10
義務教育課	「しま」体験活動支援事業	過疎対策事業債を活用し、体験活動等にかかる経費を補助する「しま」地区の市町に対する補助	体験活動費等		交付税相当額を除く市町負担額の1/2	交付税相当額を除く市町負担額の1/2
生涯学習課	日本の宝「しま」体感交流事業費補助金	県内の子ども、親子、青年を対象に、しまの魅力を体験する活動を実施する市町の実行委員会に対して事業費の補助を行う ・子ども、親子対象 ・青年対象	事業費		2/3 1/3	1/3 2/3

(注1)「対象経費の主な内容」は、補助事業等の対象となる主な経費を工事請負費、人件費、事務費等の別に記載している。

(注2)「経費の負担割合」は、法令等に基づく負担割合である。

・国庫支出金のうち県予算に計上されないもの及び県の継ぎ足し単独分については()書きとしている。

広域景観形成推進事業
アクションプログラム

平成26年3月

五島地域広域景観形成推進協議会